


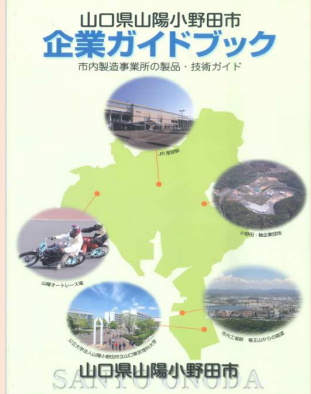




令和4年度ふるさと支援基金（ふるさと納税）等活用事業

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
1	子育て・福祉・医療・健康	福祉医療（乳幼児・ひとり親家庭）助成事業	乳幼児医療費助成：小学校就学前の乳幼児の医療費（保険適用）自己負担分を助成します。父母の市民税所得割額の合計が136,700円を超える世帯は、9-2の単市助成分で助成します。ひとり親家庭医療費助成：18歳未満の児童を養育するひとり親家庭の父・母及び児童に対して、医療費（保険適用）の自己負担分を助成します。ただし、市民税所得割が非課税の世帯に限ります。	133,016,864	20,000,000	対象者に対して医療費を助成しました。
2		子ども医療費助成事業	子育て世代の経済的負担を軽減するため、小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分（3割負担）のうち全額を助成し、本人の負担をなくします。ただし、所得制限（父母の市民税所得割額の合計が136,700円以下）があります。	67,591,389	20,000,000	小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分を助成しました。
3		児童館環境整備事業	老朽化している児童館について、必要な大規模修繕を年次的に行います。 （1）各児童館のエアコン設置から相当年数が経過しており、年次的に更新を行います。令和4年度は有帆児童館のエアコンを更新します。また、延命化を図るため年次的にクリーニングを行います。 （2）小野田児童館の裏にあるメタセコイヤが高木となっており、落葉樹であることから隣接地に葉が落ち迷惑を掛けている状況のため伐採します。 （3）高千帆児童館の非常通報装置が光回線に対応していないため更新します。 （4）全館のパソコンがWindows8で令和5年1月にサポートが終了するため更新します。	1,174,360	1,120,000	<ul style="list-style-type: none"> ・有帆児童館のエアコンを更新しました。 ・小野田児童館の木を剪定しました。 ・児童館全7館のパソコンを更新しました。
4		山口東京理科大学との連携によるフォーラムの開催	山口東京理科大学の薬学部、市・大学・医師会・薬剤師会が連携することにより、市民、市外在住者医療関係の企業・団体向けにフォーラムを開催し、薬学部を中心とした地域の活性化と健康ご長寿社会の実現に向けた機運の醸成を図ります。	285,158	285,158	<p>9月25日に「健康で長生きのまちづくりフォーラム～スマイルエイジングin山陽小野田」を山口東京理科大学で実施しました。</p> 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
5	子育て・福祉・医療・健康	スマイルエイジング薬局事業	スマイルエイジングに向けた活動を展開する薬局を「スマイルエイジング薬局」に認定し、市民の健康づくりをサポートする健康拠点の体制づくりを行い、市民の健康寿命の延伸を図ります。 また、市薬剤師会、山陽小野田市立山口東京理科大学、行政の産官学連携により推進体制を強化するとともに、他関係団体とも協働して実施できるよう支援していきます。	604,984	604,984	市民が身近で気軽に健康づくりについての相談や支援が受けられる拠点として「スマイルエイジング薬局」を9月に開始し、令和5年3月末に9局を認定しました。 
6	市民生活・地域づくり・環境・防災	避難所備蓄品整備事業	災害発生時に避難所を開設し運営するにあたり、必要な備蓄品について、これまでも食料や生活必需品を中心に日本赤十字社山陽小野田市地区による備蓄が行われていますが、市としても自助・共助を基本とし、コロナウイルスに代表される感染症対策も踏まえ、発災直後に必要となる避難所運営に必要な資器材を備蓄します。	132,000	132,000	災害時に避難所で使用する避難マットを100枚整備しました。 
7	市民生活・地域づくり・環境・防災	自主防災組織等育成事業	自主防災組織の活動を活発かつ継続的なものにするため、防災資器材や訓練に要した経費の補助を行います。	307,800	307,800	防災資器材（スコップ、土嚢袋、毛布、非常用飲料水等）の整備に活用しました。 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
8	市民生活・地域づくり・環境・防災	地域防災訓練事業	市民の防災意識の向上及び地区防災組織活動の充実等を図るため、地区防災組織が実施する防災訓練に対し経費を補助します。	1,100,000	1,100,000	市内全11地区に交付し、防災意識の向上及び防災体制の充実を図ることを目的とした防災訓練に活用しました。 
9		防犯カメラ設置補助事業	犯罪のない安全・安心なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、防犯カメラの新設経費の一部を補助します。これにより、地域における不法投棄等や人目のつかない空き家、通学路等への不審者の出現等の犯罪の発生を抑制し、万が一犯罪が発生した場合においても防犯カメラの映像が早期解決の糸口となり、犯罪の発生の防止に寄与します。	100,000	100,000	防犯カメラ1台設置に対して、経費を補助しました。
10		ハロウィンイベント実施事業	市のイメージカラー「オレンジ」との親和性が高く、若者に人気のハロウィンに着目し、10月下旬、映像等を効果的に活用した作品の上映やステージショー等の参加型イベント「スマイル・ハロウィンパーティー」を開催します。市の魅力を大々的にPRするとともに、同イベントに関わった人に本市に対する誇りや愛着を持っていただくきっかけとします。また、10月の1か月間、「スマイル・オレンジフェア」を実施し、参加事業所によるサービス提供やディスプレイコンテストの開催、関連イベント等の連携を図ることで、市内全域における交流人口の増加を狙います。 令和4年度以降においても、交付金がなくなるほか、新型コロナウイルス感染症による影響が継続すると想定した上で、「スマイルハロウィンさんようおのだ」をどのように展開していくことができるのか、どのようなアイデアが考えられるのかなどについて、実行委員会を中心として意見を取りまとめます。	3,764,086	3,764,086	10月の1か月間、「スマイルハロウィンさんようおのだ」を実施しました。 ・おのだサンパークでスマイル・ハロウィンパーティーを開催 ・デジタルスタンプラリー等オレンジフェア 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
11	市民生活・地域づくり・環境・防災	シティセールスガイドブック作成事業	本市の魅力や住みよさを市内外にPRするため、令和2年1月、シティセールスガイドブック「SO smile」を作成しました。(4,000部、B5横型28ページ)令和元年度は、移住フェア等で配布したほか、市役所等の公共施設に設置、ホームページにも掲載するなどして、本市の住みよさをPRしました。令和2年度は、商業施設や住宅展示場、不動産会社等にも配布し、移住検討者等を対象に本市の魅力や住みよさをPRしました。また、市民課及び各支所の窓口で、転入者に配布しています。令和3年度は3,000部増刷し、課名の変更や施設名称の変更等を行い、内容を最新の状態にして配布しました。令和4年度は、「移住者インタビュー」「シティセールスページ」を更新した上で、3,000部増刷し、移住フェア等で配布します。	984,500	984,500	シティセールスガイドブック「SO smile」の内容を最新に修正し、3,000部増刷しました。 
12	産業・観光	企業ガイドブック活用事業	「企業ガイドブック」(市内企業及び山口東京理科大学の紹介)を更新し、市内外の企業へ配布する等のPR活動を行うことで、市内企業が広く事業マッチングできるよう支援します。また、大学の紹介を掲載することで共同研究につなげます。	330,000	330,000	「企業ガイドブック」(市内企業及び山口東京理科大学の紹介)を更新し、市内外の企業へ配布する等のPR活動を行うことで、市内企業が広く事業マッチングできるよう支援しました。また、大学の紹介を掲載することで共同研究につなげました。 
13		空き店舗等利活用支援事業	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者(既存事業者、新規起業者等)に対して、当該店舗において事業を開始するための「リニューアルの費用」の一部を補助します。(補助金上限額:1/2以内、50万円 1事業者1回のみ申請可能)	1,000,000	1,000,000	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者に対し、当該店舗において事業を開始するための補助金として、小野田駅周辺エリア内に飲食店とエステサロンの2件交付しました。
14		創業応援金交付事業	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付します。創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付します。	1,200,000	1,200,000	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を12件分交付しました。なお、当該補助金は創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付するものです。


No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
15		創業支援事業（個別相談会、支援セミナー等実施事業）	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、短期の集中セミナー（起業塾）等を実施します。創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップします。 また、市内で創業を希望する方を対象に、おのだサンパーク内の店舗スペースを一定期間提供する「チャレンジショップ」を実施します。 商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づけます。	2,830,000	2,830,000	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方（事業承継も含む）への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、短期の集中セミナー（起業塾）等を商工会議所へ委託し、実施しました。 また、市内で創業を希望する方を対象に、おのだサンパーク内の店舗スペースを一定期間提供する「チャレンジショップ」を実施しました。 
16	産業・観光	担い手支援事業	担い手の育成・確保を図るため経営発展を目指す認定農業者の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援します。 ○補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械(10万円以上)・施設の取得に要する経費 ○補助金額 事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円(5年間の認定期間中に1回限り)	4,816,000	4,816,000	農業用機械・施設の導入に係る経費を助成しました。 (詳細) 田植機1台、管理作業機1台、卓上I7-ピストン式充填機1台、糶すり機3台、畦草刈機1台、軽量シャッター式、糶粗選機1台、刈払機2台、セット動噴1台、高圧ホース1台、アルミス巻取機1台、鎮圧ローラー1台、ハウス用ビニールシート(内張用)20枚、選別計量機1台、ラジコン動噴1台、7スプ自動選別機1台、施肥播種機1台、パイプハウス1棟 
17		山陽小野田名産品活用促進事業	山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西同郷会での広報宣伝活動、また、新たな名産品の発掘や認定に取り組むことで、名産品の認知度向上及び販路拡大を目指します。	151,000	151,000	やまぐち名産品フェア、東京都庁、関西山口県同協会において名産品をPRしました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
18	産業・観光	観光パンフレット等作成事業	山陽小野田観光協会へ補助金を交付し、観光協会でノベルティグッズ（ウェットティッシュ、手さげ袋、PRキャラクターシール等）を作成し、イベント参加者に対し配布することで本市の観光資源の認知度向上を図り、交流人口を増加させます。	486,200	486,200	ノベルティ（ボールペン、PRキャラクターシール）を作成しました。
19		観光ボランティアガイド活動支援事業	観光客等へのホスピタリティ向上を目的として、観光ガイド団体が実施する事業（ガイド派遣事業・ガイド育成事業等）に山陽小野田観光協会が補助金を交付することにより、同会を通じて活動を支援します。	33,000	33,000	ガイド派遣事業に補助金を交付することにより、活動を支援しました。
20	教育・文化・スポーツ	キャリア教育推進事業	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図ります。主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図ります。本市出身者、または地元で活躍中（文化・スポーツ・起業家等様々な分野）の人材を招いて講演会等を開催します。	284,319	284,319	小学校5校、中学校5校において、講演会や職場体験学習等を開催しました。 
21		スマイル・サイエンス事業	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図ります。山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催します。	25,389	25,389	山口東京理科大学の大学開放日に科学作品展を実施しました。（感染症対策のため科学体験は中止）
22		プラネタリウム投影事業	青年の家の天文館のプラネタリウム（ミノルタMS-10）は、昭和41年山陽パークに設置され、その後、旧山陽町が買収し、研修棟やプールと一緒に青年の家として管理しています。現在、国産で稼働（一般公開）しているプラネタリウムの中では、最古級の機械です。また、令和3年9月14日に国立科学博物館より科学技術の発達史上、重要な成果を示すものと認められ、「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」に登録されました。令和3年になって天文館の雨漏りがひどくなり、プラネタリウム内部まで雨漏りが確認され、天気によっては主催講座にも影響のある可能性が高まっています。そのため、令和4年末で天文館の利用を終了し、最後のプラネタリウム投映会を企画します。プラネタリウム投映の様子を映像化し、天文館が閉館後、写真やパネルと一緒に展示していきます。	737,000	737,000	ありがとう投映会を10日間実施し、プラネタリウムの映像を記録化しました。 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
23		図書資料購入事業	近年、高度情報化などが急速に進む中で、地域課題の増加や市民の学習意欲に対応した図書資料の充実が求められています。このため、各分野の図書資料を購入し、地域の情報拠点として整備します。	15,191,048	12,257,508	<p>図書6,265冊（中央図書館4,559冊、赤崎分館21冊、高千帆分館42冊、厚狭図書館1,643冊）、雑誌1,584冊（中央1,253冊、赤崎分館6冊、高千帆分館33冊、厚狭図書館292冊）視聴覚資料40点（中央図書館33点、厚狭図書館7点）の購入費用に充当しました。</p> 
25	教育・文化・スポーツ	アウトリーチ事業	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、身近な施設に向いて芸術文化に触れる機会を提供し、だれもが気軽に芸術文化に親しむことができる環境づくりを進めます。	387,608	387,608	<p>アウトリーチ事業を2回実施しました。</p> 
26		子ども文化ふれあい事業	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、各小学校（5・6年児童対象）や公立幼・保育園で芸術文化鑑賞会を実施します。	876,095	876,095	<p>芸術文化鑑賞会を小学校と保育園で6回実施しました。</p> 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
27		現代ガラス展開催事業	<p>本市のガラス文化の魅力を発信するため、平成13年度から3年に1度開催している「現代ガラス展in山陽小野田」の第9回展を令和5年度に開催します。</p> <p>第8回展（令和2年度）に東京都で初めて特別作品展（上野の森美術館）を開催したところ、市のガラス文化発信に大きな成果を得ることができました。</p> <p>この成果を引き継ぎ、ガラス文化のさらなる発信及びシティセールスの観点から、市内商業施設、萩美術館・浦上記念館に加え、東京都での特別作品展を継続開催します。</p>	3,000,000	3,000,000	<p>現代ガラス展実行委員会に負担金を交付しました。</p> 
28	教育・文化・スポーツ	ガラス文化推進事業	<p>(1)出張ガラス体験教室を開催 市内外の行事等で開催し、多くの人が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとするとともに、きららガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市のガラス文化の推進を図ります。</p> <p>(2)市所有ガラス作品の定期的な展示替え 公共施設等に展示しているガラス作品の定期的な展示替えを行い、市民が様々なガラス作品を鑑賞する機会を提供します。</p> <p>(3)市所有ガラス作品の団体等への貸出 展示を希望する団体・事業所等へのガラス作品等の貸出を行うことで、貴重な作品を作品を眠らせることなく活用し、市のガラス文化を広く多くの方々に周知する機会を増やします。</p>	215,280	215,280	<p>出張ガラス体験教室を5回開催しました。</p> 
29		かるたによるまちづくり推進事業	<p>市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進めます。</p> <p>また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開します。</p>	508,930	500,000	<p>学校かるた出前教室を市内の小中学校、保育園、幼稚園で23回開催しました。</p> 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
30		歴史民俗資料館管理運営事業（企画展）	歴史・文化財について広く学習でき、興味関心を持ち、郷土愛の醸成につながるような企画展・講演会を開催します。歴史学、民俗学、考古学の分野、様々なテーマで開催し、山陽小野田市の歴史へ理解を深めることを目的とします。	1,295,771	1,295,771	企画展を4回、関連講演会2回実施しました。 
31	教育・文化・スポーツ	備品購入事業	企画展や資料整理などに必要な備品を計画を立てて購入します。今まで、企画展の度に、中央図書館から長期間借用していた展示パネルが借用できなくなったため、展示用パネルを購入します。カラープリンター（平成19年購入）が壊れ、他施設より中古を借用していますが、不具合が出ているため、カラープリンターを購入します。講演に出かけることが多いのですが、各施設ごとにパソコン、プロジェクター、ケーブルの準備に不便があるため購入します。	176,220	176,220	展示パネルを購入しました。 
32		レノファ山口とのパートナーシップ事業	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による小学生とのスポーツ交流事業などを実施します。選手やスタッフ等と市民が交流する場をすることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進します。令和3年6月に市とレノファ山口との間で締結した包括連携協定に基づき、社会課題や地域課題の解決に向けて双方で連携した事業を実施します。	788,800	788,800	保育園での交流事業を2回、中学校でのキャリア教育を1回実施するほか、市内イベントへの参加・協力、スタジアムでのPRを実施しました。 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和4年度実績
33	教育・文化・スポーツ	パラサイクリングのまちPR事業	東京2020パラリンピック後においてもパラサイクリング日本代表チームの支援を継続することで、パラサイクリングのまちとして情報発信を行います。また市民との交流事業を実施し、障がい者スポーツの支援を行います。共生社会の推進も図ります。 日本パラサイクリング連盟が主催する「サイクル・スマイル事業」との連携によるサイクルイベントを開催します。	895,794	895,794	合宿実施を6月に（選手3名参加）、交流事業を6月、3月に（小学校2回、保育園1回）実施しました。 
					80,684,512	

寄附金充当額合計